

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 29日

事業所名 児童発達支援センター きらり

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		相談室・訓練室として増築工事を行った。	
	2	職員の配置数は適切である	3	1			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		4		支援におけるPDCAは定期的に行っているが、その他業務についてはサイクルの循環が遅い。	より支援に取り組めるよう業務の効率化に取り組む必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2			アンケート結果については職員に報告し、全職員が周知したうえで業務改善を図っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			会議内での支援技術の情報共有などOJTを行っている。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			保護者からの聞き取りをもとに、チームで作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		1	ツールに合わせた目標設定を行っている。	アセスメントツールが現状のものが利用者把握するのに適切かどうか検討が必要。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			毎日ミーティングを実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			長期休暇は外出活動も取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			ガイドラインに沿って活動を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			毎日ミーティングを実施している。	

関係機 関や保 護者 との連 携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	1	翌日に実施している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		ケース記録を元に支援方法や目標を設定している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			面談や担当者で会議を行い、支援計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	1			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			児発管が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			送迎時に共有するようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1		他施設へ移行する場合は、情報提供を行うようにしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	1	公園などに行く他の児童と同じ場所で遊べるように活動を設定した。	他事業所との交流がない為、今後検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	2			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			連絡ノートだけでなく、直接口頭で伝えるようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	1	希望者に発達相談を行っている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			見学時、契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			必要に応じて面談、発達相談を実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2			コロナの影響により実施できていない。感染対策を十分に行い、できるだけ交流の場を提供していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			お便り、広報誌を発行している。	今後も継続して行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			カードや文字などの視覚情報を使用している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	1	毎年、豊徳祭を実施している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			長期休暇に避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			今年度は事例検討を実施した。	来年度は委員会を設置し、虐待防止についての研修などを定期的実施していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2		契約時に説明し、支援計画にも記載している。	身体拘束について職員に再度周知する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1			
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1		ヒヤリハットがあった際には必ず報告し、職員に周知している。		